



2012 ~ 2013 年度  
R I テーマ

# Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

国際ロータリー会長 田中作次(国籍・日本)

2720 地区

## 別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分  
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0820 別府市北浜1-14-15  
TEL (0977) 22-1110 FAX 21-1019  
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F  
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>  
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	高宮 勝美	理事	大島由美子	役員	会長	高宮 勝美	S A A	亀井 孝
〃	森園 伸也	〃	村津 忠久	副会長	副会長	森園 伸也	直前会長	亀井 孝
〃	木村きぬゑ	〃	近藤 賢司	幹事	幹事	前田 哲矢		
〃	森 宗明			会計	会計	大江 知巳		

VOL. 25 - 7  
2012年8月21日

## 第1108回例会

会報委員長 河村 貴雄

◆点 鐘 12:30

◆R S B C R C の詩

◆唱 歌 海

◆ビジター 日名子光(別府RC)



◆出席報告 幹事 前田 哲矢

本日 の 出 席	会 員 総 数	24 名
	出 席 者	14 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	1 名
前 々 回 の 訂 正	欠 席 数	7 名
	出 席 率	60.87 %
	出 席 率	63.64 %
	事後メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	1 名
7/31	出 席 免 除	2 名
	修 正 出 席 率	72.73 %

連 続 一 回  
通 算 743 回 100 %

### ・メイクアップ

事前 佐々木(別府東)  
事後 大島(別府東)  
欠席 中尾、梶原、衛藤、大島、平野(英)、  
河村、岐部  
理事会承認 梶田  
出席免除 溝部

### 会長の時間

会長 高宮 勝美

職場訪問 その1 大江墓石

今年は特に暑い夏が続いています。

何処か涼を求めて行きたい…と想像した時に、「大江会員」から渡りに船…の電話がありました。(お盆の15日の送り火の準備と片付けのアルバイト募集の件でした)若い人に声をかけてみましたが、11日の土曜日からお盆の15日までは、既に予定が組まれていました。

意を決して私が(猫の手)になって応援しよう

と思い、15日は勇んで藤ヶ谷霊園に向かったのですが…。関の江から山手に入る予定が、暑さのせいか九州横断道路を進み、アフリカンサファリの方へ向かい、明礬温泉に着きました。

この頃から、会社を出る時は素晴らしい夏空が



入道雲に変わり、大粒の雨が車のフロントガラスを叩き付ける様になり、明礬から十文字原に抜ける道は濁流でした。交差する車の跳ね上げた水飛沫で運転が怖くなりましたが、どうにか目的地(藤ヶ谷霊園)にたどり着きました。

既に多くの手伝いの人々で綺麗に会場整備が行われていました。しかし、突然の夕立で全てが水浸しになり、何時止むか解らない猛烈な雷と雨、風の外を眺める人、パソコンで天気図を見る人、様々でした。その時、誰となく(実は誰が言ったか知っています)「あのセルシオ(私の車)が雨を運んできた。」そう言うと、呼応したようにパソコンを見ていた人が「あのセルシオの上だけ真っ赤な雨雲がかかっている」と言っていました。

それから暫らくして(時間で5~7分)大江会員が私に呟く様に「この雨の後に奇跡が起こり、神様が天国を見せてくれるのですよ」とおっしゃいました。私への慰めかと思いながらイベント開始の時間が近づく中、「腹が減ったら……ですネ」と言って用意してくれていたパンと牛乳を頂きました。雨宿りをしただけの私も遠慮せずに頂きました。

そして、定刻の10分程前。本当に奇跡の様な現象が起こったのです。

周りの草むらから虫のコーラスが始り、木々の間からは雨宿りをしていた小鳥たちが羽ばたきました。空に飛び立った虫たちを(夜食のご馳走に)追いかけて行ったのか、黄昏が迫る家路を急いだのか…私には解りませんでした。

すると、誰かが感嘆の声を発しました。

「あっ 虹だっ。」

正しく、大分の街から別府湾と別府市街地を包み込み、仏の里「国東半島」に降りていたのです。その光景は素晴らしいの一言でした。

やがて、西の山に太陽が沈み別府、大分、国東に夜のとばりと灯りが燈るころ、別府湾を背としたシルエットの中でヴァイオリンの演奏が始まりました。

「故郷」「月の砂漠」「見上げてごらん 夜の星を」など10曲ほどを、雨上がりの澄みきった星空に染み込むような静かなしらべが流れる中、奏でられました。目頭を押さえる人、静かに目を閉じる人、遠くを見つめる人…。一時の静寂。

最後に、今年亡くなられた大江会員のお母様へのメッセージを女性アナウンサーにより朗読され、90分間のイベントが終わりました。心が洗われた気持ちで会場を後にしながら、大江会員はロータリー精神に沿った素晴らしいロータリアンだと改めて感じつつ家路につきました。

今日、冷静に考えてみると、私がセルシオで運んで行った雨雲のお蔭で、空気中のごみや汚れが落ち、虹が出て、熱く焼けた土地や空気が冷やされ、涼しい宵闇に移行したのでした。

その影色と、大江会員の詩に、私も一詩。

大江会員、お時間がありましたら曲をつけてください。

1. 嵐過ぎ 虫のコーラス 虹の橋  
星の微笑み 送り火の宵
2. 送り火の 乙女の頬に光る影  
風の囁き 高原の秋
3. 送り火の 輪に囲まれし 弦の音  
愛しき人の 面影いずこ

## 幹事報告

前田 哲矢

### —会員増強および拡大月間—

1. 本日の内容  
「会員増強フォーラム」
2. 2012—2013年度第2720地区米山記念奨学委員会セミナー開催のお知らせ  
日 時 平成24年9月2日(日) 13:30~15:30  
場 所 大分県ニューライフプラザ内  
(別府ビーコンプラザ前)  
別府市労働福祉センター2F 研修室  
参加対象 ガバナー補佐、会長、米山奨学委員長、入会2年未満の会員
3. 「第2回定例理事・役員会」報告  
(平成24年8月7日(火) 13:40~  
於：ホテルニューツルタ例会場 9名)



報告事項

- 1) 別府市内4RC会長・幹事会報告  
(平成24年7月31日(火)13:40～  
於:ホテルニューツルタ)  
定款第6条第1節(C)に基づく8月例会休会に伴う合同事務局閉鎖の件。  
閉鎖期間:「8月13日(月)～8月15日(水)」

審議事項

- 1) 2011-2012年度決算報告/2012-2013年度予算書の件。※承認
- 2) 月見例会の件。 ※承認  
日 時 平成24年9月18日(火)18:30～  
場 所 割烹旅館 ゆめさき  
会 費 5,000円  
(個人負担分5,000円+例会食事費2,000円=7,000円)
- 3) インターアクト韓国親善交流事業 分担金の件。※承認
- 4) インターアクト親善訪問団ホームステイ諸経費の件。※承認
- 5) 日母おぎゃー献金基金より「おぎゃー献金」協力依頼の件。※承認(募金袋を配布)
- 6) 8月・9月例会予定の確認  
8月7日 「第2回クラブ協議会」  
14日 「定款第6条第1節に基づき休会」  
21日 「会員増強クラブフォーラム」  
28日 「ゲスト卓話」(社)別府青年会議所  
理事長 長野勝行氏  
9月4日 「会員卓話」平野教康、村津忠久  
各会員  
11日 「インターアクト活動報告」  
別府溝部学園高等学校IAクラブ生  
18日 「月見例会」於:割烹旅館 ゆめさき  
25日 「ゲスト卓話」別府商工会議所  
青年部 会長 江川俊二氏

7) その他

- 就労支援センター藍より 仏祝儀袋  
販売協力依頼の件。※承認

4. お祝い

配偶者誕生日 高宮貴子さん(8月23日)

5. 8月19日(日)8:00～湯布院カントリークラブ  
レークサイドコースに於いて「RC親睦ゴルフ  
コンペ」を開催し、杵築RC会員との親睦を  
図りました。

参加者:後藤隆、亀井孝、森園伸也、平野教  
康、梶原和朗 各会員

6. 例会変更のお知らせ

大分東RC 8月23日(木)の例会は、早朝例会  
の為 同日6:00～万寿寺に時間  
・場所変更

別府RC 8月24日(金)の例会は、夕涼み例  
会の為 同日18:30～両築別邸に  
時間・場所変更

大分1985RC 8月27日(月)の例会はクラブ研修  
会の為 同日12:30～コンパルホー  
ルに場所変更

別府北RC 8月29日(水)の例会は、「親睦家  
族バス旅行例会」の為 8月26日(日)  
8:45～九重方面に日時・場所変更

大分キャピタルRC 8月29日(水)の例会は、職場訪問  
例会の為、同日12:30～うるま優  
交社寒田会館に場所変更

別府東RC 8月30日(木)の例会は、会員増強  
クラブフォーラムの為 同日18:30  
～ホテルサンバリー麦屋に時間・  
場所変更



宇佐RC 8月30日(木)の例会は、納涼夜間  
例会の為 同日18:30~米沢観光  
園に時間・場所変更

ルフコンペに参加された会員様、お疲れ様でし  
た。準優勝亀井さん、おめでとうございます。  
優勝は僕でした！スマイル。

#### ○佐々木会員

本日、8月30日の2週連続で仕事の都合で欠  
席します。プログラム(副)、親睦委員長の代  
理を宜しくお願い致します。

2週分まとめてスマイルします。

#### ○村津会員

7月初旬、2度の大雨で大きな被害を受けた、  
もみじ谷の中の一気登山道ですが、先週金曜日、  
一气登山実行委員3名と市の観光課と土木課の  
関係者が現地を視察調査さいた結果、市の「災  
害復旧事業」として工事をしてくださる事にな  
りました。感謝、感謝でスマイル。

#### ○木村会員

今年のお盆は11日~20日まで連休続きで昨年  
より忙しかったです。去年は震災が有り、自粛  
ムードもあったと思いますが、職業奉仕の気持  
ちでがんばります。

#### ○大江会員

8月15日、当霊園の送り火供養祭に、高宮会  
長、平野教康会員、木村会員が、開催準備のお  
手伝いに来て下さいました。本当に、有り難う  
ございました。

当日は、別府と日出に大雨警戒注意報が出  
て、てっきり「高宮会長が、雨を連れてきたん  
だな！」と思い、「早く帰ってくれたら良いの  
に」と思っていたら、平野会員が途中、「用事  
があるので」と帰った途端、晴れました。その  
後、別府湾と大分市の夜景と、千の送り火灯籠  
で、まさに、万灯籠の素晴らしい供養祭になり  
ました。その幻想的な景色と、バイオリン・コ  
ンサートの中、最後まで、木村会員は、静かに  
居眠りをしていました。

#### 7. 次週の予定

「ゲスト卓話」社団法人別府青年会議所  
理事長 長野 勝行 氏 (別府東RC会員)  
「会員コラム」亀井 孝会員  
\*原稿をお願い致します。

#### 8. 本日の回覧

- ①「別府ロータリークラブ創立60周年記念式典」  
出・欠席
- ②「月見例会」出・欠席
- ③米山梅吉記念館 館報
- ④杵築RC 週報
- ⑤自衛隊別府連隊後援会より「扇山」
- ⑥就労支援センター藍より仏祝儀袋 希望購入

#### 9. 本日の配布

- ①週報No.1107
- ②2011-2012年度ガバナー月信No.13 (最終号)
- ③おぎゃー献金募金袋

### スマイルボックス 委員長 大江 知巳

#### ○別府RC会長 日名子光氏

別府RC60周年式典の全員登録ありがとうございます。  
参加の程よろしく申し上げます。

#### ○森会員

今日お見えの八坂さんとはフェイスブック友  
達です。みなさん、チケットよろしく！！  
ぶたまんの店をオープンしました。  
よろしくぶー (\* (〇〇) \*)

#### ○平野(教)会員

8月19日、別府中央、杵築ロータリー合同ゴ



会員増強フォーラム

会員増強計画グループ

会員増強員長：平野教康 副委員長：平野英壽

○印グループリーダー

**A 班**

○高宮 会長  
津末美代子  
近藤 賢司  
後藤 隆  
堀 由美

**C 班**

○前田 幹事  
衛藤 秀子  
森 宗明  
木村きぬゑ  
大江 知巳  
梶原 和朗

**B 班**

○平野英副委員長  
中尾 誠  
大島由美子  
鳴海 淳郎  
河村 貴雄

**D 班**

○平野教委員長  
亀井 孝  
村津 忠久  
森園 伸也  
岐部 光男  
佐々木久宜

会員増強フォーラムを受けて、鳴海淳郎会員  
ロータリー探求No.57「会員増強の原点」を引用  
させて頂きました。

2002年8月の投稿ですので数字に違和感がある  
かも知れませんが基本的な考え方としてわかりや  
すく解説されていますので掲載致します。

Sharing Rotary, ロータリー精神を共に分かち  
合うことは、われわれロータリアンの使命であり  
ます。

国際ロータリー定款第3条にありますように全  
世界にわたってロータリーを奨励し、助長し、拡  
大するために、われわれロータリアンは新会員の  
スポンサーとしてロータリー精神を体得した人を  
一人でも多くつくり、平和な住みよい社会をつく  
らなければなりません。

また、何と申しましても、ロータリーの拡大・  
増強はロータリーの生けるしるしであり、ロータ  
リー始まって以来常に直面している問題でありま  
す。

パウロ・コスタ国際ロータリー1990～91年度会  
長は、ロータリアン誌1991年1月号に寄せた会長  
メッセージの中で、『1991年の始まりは、20世紀

最後の10年間に入る第一歩であるという意味で、  
特に意義深いものである』とし、西暦2000年まで  
に会員数を200万人にするという目標（2,000,000  
by 2,000）を提起しました。そして、『この大目  
標の達成は決して夢ではなく、現在100万人の会  
員が今後10年間に夫々一人ずつ新会員を増やせ  
ば、西暦2000年までに会員数は200万人の大台に  
乗るはず』としたのであります。

しかし、現実には中々厳しく、やっと120万人に  
近い状態です。

また、今年度、ラタクル会長はロータリー100  
周年の2005年までに会員数を150万人に増強する  
目標をたて、比較的若い会員や異なった経歴や職  
業を持つ人たちを入会させることに焦点を当てる  
必要があるとしています。

**理想と現実のギャップを如何に埋めるか？**

会員増強は、まず退会防止から

デブリンRI前会長は、現存のロータリアンを  
保持することのほうが、新たな会員を入会させる  
より7倍も容易であると言われましたが、その前  
に退会の理由について2つの意見を紹介しましょ  
う。

[退会の理由]

\*南部 裕（東金）RI退会防止グループ、  
第1ゾーン・コーディネーター  
・・・『友』平成12年8月号より

- ① 病気
- ② 死亡
- ③ 魅力のないプログラム
- ④ 親睦の欠如、会員間の派閥
- ⑤ 会員自身の意識の不足
- ⑥ 情報の提供不足

\*大島英二（鳥栖）ロータリーの友委員会顧問  
・・・『友』平成13年8月号より

- ① 経営環境の悪化（経済不況）
- ② メンバーの高齢化
- ③ 新メンバーの定着率の悪化
- ④ 自分の考えていた集団と違う



⑤ 金が掛かり過ぎる

**会員増強の原点**

わたしは、先に『会員増強について考える』と題して小著を発行しましたが（2000年5月）、その後いろいろなことを体験し、また他クラブ会員のご意見を聴く機会もありましたので、これらを参考に、次のことを補足したいと思います。

丸山元RI理事（2000～2001）が当時RI会員増強・拡大グループ・東アジア地域コーディネーターをされていた時、当時の森 三郎『友』委員長と対談「課題を語る」をされた中で、次のように言われたことがとくに私の胸を打ちました。それは次のようなことでした。

・『会員増強・退会防止の手引き』だとか『会員教育実施要領』だとかいろいろマニュアルがありますが、これからは、もっと根本的な問題、例えば、ロータリーには夢があり、ロマンがありますので、活動を通じて、本当に感動を体験した人は、どんなに苦しくなってもロータリーを止めないと思います。そこで、クラブ会長さんには皆が感動するようなプログラムや運営をやってもらいたいと申し上げたい。

・そしてロータリーに入ってよかったという感動を与えてほしいと思う。

・何かのプログラムで協力し合うこと、皆で声を掛け合い、一緒に汗を流す、そこに感動が生まれロータリー・ライフが楽しくなる。

以上『友』1998年〔平成10年〕10月号より

また、ラタクルRI会長は「新しい人々をロータリーに入会させるためには、心の中にロータリーを植えつけることが大切である」と述べています。

以上『友』2002年〔平成14年〕8月号より

とにかく、会員一人一人が自信をもって新会員候補者を勧誘できる魅力あるクラブづくりが大切で、これには会員の資質向上に力を注ぐことが会員増強の最善の手段だと思います。

それには会員一人一人がロータリーに対して前

向きの姿勢をとるように心がける事が大切ですが、会長の時間、R-情報委員長、ロータリーの友、ロータリー入門書、先輩の話などから受けるある種のインスピレーションまたは感動・・・“inspiring solution”（ラビッツアRI前会長）、あるいは、身をもっての奉仕によるロータリー・マジックの体験・・・The magic of Rotary（ラタクルRI会長）など、これらは人によって違いがあると思いますが、これらから受ける何らかの感動によってロータリーにより前向きになり、さらにこれを深く追求することによって、湯浅元RI副会長の学生時代より好きだった“To know is to love”という言葉のようにロータリーが好きになり、結果として会員一人一人の善意が高揚し、個々の会員の献身レベルが高まることになると思うわけであります。

また、わたしの体験からしても、本当にロータリーが好きになった人は、どんな壁にぶち当たってもロータリーを止めないと言うことができます。

こうして会員の資質が向上し、これがクラブの魅力と求心力を強めることになり、有益な奉仕活動を行ないやすくなり、ロータリーのイメージアップにつながることになります。また、会員自信の充実感・満足感を高め、ひいては社会的信用度を増すことになります。

**以上が入会してロータリーの一員になりたいという動機づけにつながり、ここに会員増強の原点があると思う次第であります。**